

小6佐藤スポンサー契約

F1挑戦夢見る磐田市のカートレーサー

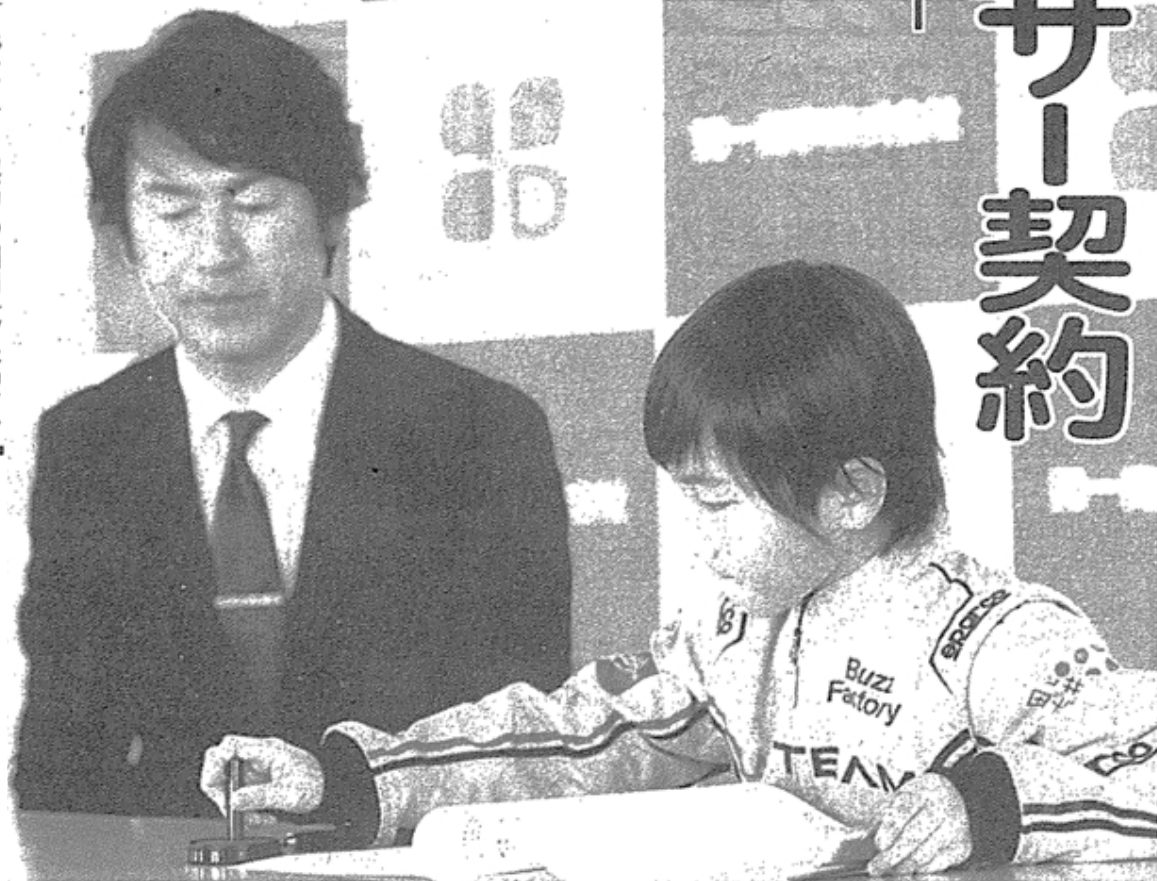
将来「スーパーフォーミュラ」のドライバーになることを目標に掲げ、F1への挑戦も夢見る磐田市のカートレーサー佐藤充希（磐田北小6年）がこのほど、市内でガソリンスタンドなどを経営し、地域の子どもたちへの社会貢献活動も進めている第一商事（清水聖也社長）とスポンサー契約を結んだ。

より高いレベルを求めて、今季は三重県の鈴鹿サーキット（国際南コース）で行われるカデットオープンクラスに出場している。



月1〜2日の練習も同所で行うため、昨年まで使用した愛知県内のサーキット場よりも自宅から遠く離れた。遠征移動やカートで使うガソリン費は悩みのたねだったが、今後1年分のサポートを受ける。

初めて自分の印鑑で調印式に臨み、押印の際は緊張して手を震わせたが、「応援してくれる人たちに応援されるよう、シリーズチャンピオンになって、全国大会では6位以上を目指し、頑張りたいです」。年齢制限で同クラスに参戦できる最後のシーズンとなるため、「自信を持って上のクラス（T1AジュニアII小5〜中3）で戦えるようにしたい」と意気込みを語った。



スポンサー契約の調印式に臨む、第一商事の清水聖也社長（左）とカートレーサーの佐藤充希